編集室

猛暑だったころ、東京・八王子の野球場観客席で、そろいのTシャツを着た女性陣が冷たいお茶を配っていた。五回が終わり、グラウンド整備による休憩時間。お茶は関係者だけと思われたが、ネット裏の一般客にも行き渡り、果ては相手側のスタンドまで行って、「さあ冷たいのをどうぞ」と甲斐甲斐しい。

自動販売機はやや遠い場所にある。水分を用意している人も、氷の入ったお茶はうれしいものだ。約300人の観客は突然の幸福に浸った。

準硬式野球の全日本大学選手権。紹介したスタンド風景は中大の初戦の京都学園大戦であった。全国から24校が集まって大学日本一を目指す大会だ。

中大準硬式野球部選手のお母さんたちも全国からやってきた。石垣島から、佐賀から、兵庫から、山梨や静岡は近いほうだという。年に1度、顔をそろえる。「お茶を差し上げているのは伝統です」と勝又裕子さん。主将の母親だ。会の名称を尋ねると「そんなものはありません。お茶を入れるのに名称なんていらないもの」と明解な返答。母たちにとって観客は自宅を訪れたお客さまと同じという。

グラウンドでは整備が終わった。中大準硬選手は、18人が繰り出した整備関係者に一礼し、大きな声で感謝の気持ちを口にした。球場は清々しい雰囲気に包まれた。スッキリしたのは冷たいお茶を飲んだからというだけではないはずだ。

部では文武両道、奉仕の精神、感謝の気持ちをたたき込まれている。「野球は一時、社会人になってからが長い、社会に出てからも信頼される人間になるために」。池田浩二監督の指導は先を見据えている。

母たちがスタンドで大会を支え、声援を送る。得点すれば中大応援団員と肩を組んで応援歌。七回には校歌斉唱だ。どの顔もいきいきと輝いている。並んだ笑顔は、息子たちの成長がもたらしたものだろう。

青春とは人生のある時期をいうのではなく、心の持ち方をいうのだそうだ。中大準硬式野球部には、スタンドにも青春がある。　（編集長　久保田茂信）

Staff

◎取材協力

各学部事務室
学事部
学生部
ボランティアステーション
国際センター
図書館
学員会
学友会
陸上競技部
水泳部
レスリング部
男子ラクロス部
応援団
中央大学附属高校
中央大学杉並高校
中央大学高校　ほか

◎写真提供&協力

中大スポーツ新聞部

◎学生記者

中野由優季
宮寺理子
野村有希
加藤静香
佐武祥子
三島薫
藤森皓子
熊谷百夏
渡辺紗希
山下緑
石崎春日子
中田実希
田中未来
山口莉奈
鈴木あきほ
福田紗友里
武内優里子
関いづみ
矢嶋万莉子
佐伯綾香
山口萌絵
田中佑樹
畫間祐亮
齋丸仁志
白倉隆之介
今井秀彰
竹田響
澤田紫門
山口大介
森田晴香
小野理世
小島千奈
西村卓真
谷藤美佳
高瀬杏菜
中村亮士
（順不同）

Next Issue

『HAKUMON Chuo』2013 冬号 NO.234
12月16日発行予定

学生記者が総力取材
乞うご期待！

学生記者が取材編集する大学広報誌 HAKUMON Chuo

2013 秋号 **NO.233**　2013年（平成25年）10月27日発行

発　　行　中央大学広報室
〒192-0393　東京都八王子市東中野742-1

メールアドレス　skubota@tamajs.chuo-u.ac.jp
編集担当　『HAKUMON Chuo』　☎042-674-2048